

東日本ユニオンにいがた

http://www.geocities.jp/higashinihonunion_niigata/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2017年5月10日発行

第26号 (通巻第58号)

発行者：岡村広志 編集者：教育・広報部

新潟地方本部で エルダー社員1名が加入!



新たな仲間とともに
がんばろう!!

5月2日付
新たな仲間とともに
がんばろう!!

しかしこの成果を実現した組合員、社員の生活は厳しさを増し、期末手当が

1. 2017年度夏季手当

過去最高益の期末決算を実現!

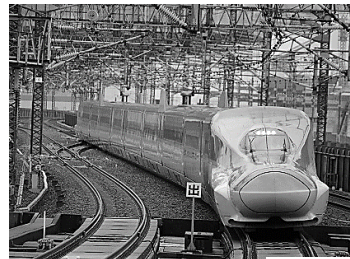
夏季手当3.2ヶ月分 要求満額を勝ち取ろう!

営業費については新幹線鉄道大規模改修引当金繰入に伴い修繕費が増加した一方で、社員数の減少に伴い人件費が111億円の減となるなどしています。

その結果、運輸収入は対前年度112億円、営業収益も同じく114億円の増となり、5期連続の増収となるとともに、期末決算としては過去最高を記録しました。

JR東日本は4月28日に2016年度期末決算を発表しました。単体・連結ともに増収増益を実現したうえ、2017年度通期の業績予想も増収・増益を見込むなど好調さを示すものとなりました。

過去最高の営業収益・当期純利益



億円となり、2期連続の増益かつ、過去最高となりま

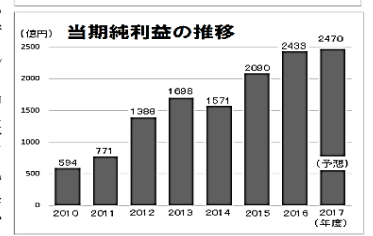
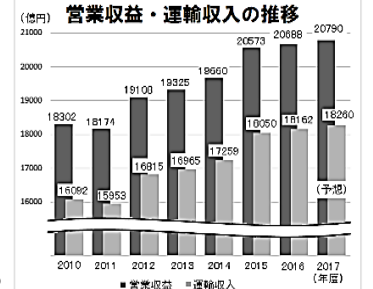
業績は好調! 要求満額を勝ち取ろう

本部は2017年度夏季手当について、申6号として2月17日に申し入れを行っていますが、要求の満額支払いが十分可能であることを示す、過去最高の2016年度期末決算が発表されました。

生活給とせざるを得ない現実が続いています。社員一人ひとりの成長とグループの成長を通して、JR東日本グループが限りなき前進を続けるためには組合員、社員に対する積極的な還元により生活に対する不安を払拭することが必要不可欠です。

1. 2017年度夏季手当

1. この間、エルダー社員制度における再雇用までの流れについて、会社冊子に記載されている「ライフプラン」の「再雇用ま



のいずれも増益を見込むとしていきます。

エルダー制度の公平な運用を求める

本部 申9号を申し入れ

JR東日本が大量退職期を迎えている現在、エルダー社員制度の運用に関する問題が生じています。エルダー社員制度の目的の一つである「人材育成」からかけ離れた出向先が提示されている実態や、エルダー社員制度を希望している社員に対する対応

1. この間、エルダー社員制度における再雇用までの流れについて、会社冊子に記載されている「ライフプラン」の「再雇用ま

1. この間、エルダー社員制度における再雇用までの流れについて、会社冊子に記載されている「ライフプラン」の「再雇用ま

団体交渉の日程決定

申3号
E129系運用に伴う
輸送障害の解消に向けた
緊急申し入れ

申4号
エルダー社員制度の
誠意ある運用を求める
第三次申し入れ

2017年5月19日
10時00分より
職場から議論を創り出そう!

